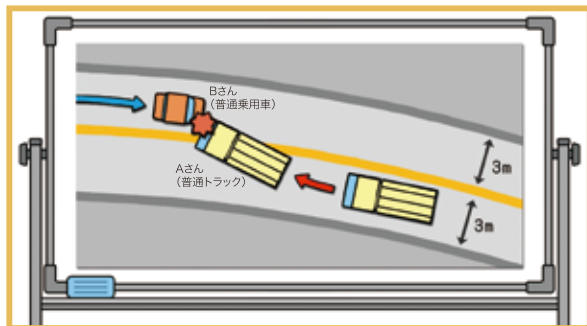


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役立てください。

事故に  
至るまでの  
状況

Aさん(男性、普通トラック、50代)は、14時ごろ荷物を配送するために往復2車線で、はみ出し禁止となっている幅員6mの緩い左カーブを走行中、対向車線にはみ出し、対向車線を走行中のBさん(40代、普通乗用車、女性)と正面衝突しました。BさんはAさんが急に自分の走行車線にはみ出してきたので避けることができませんでした。この事故でAさんの車は大破、Bさんの車も中破し、双方が軽傷を負いました。

事故現場  
略図



## 事故の原因

この事故の直接的な原因はAさんの脇見ですが、その脇見をさせたのは、運転中の不用意な行動でした。Aさんは前日の睡眠時間が十分でなかったことに加え、体調がすぐれないまま当日の配送業務に就いていま

した。さらに、助手席に置いていた缶コーヒーを取ろうと、前方から目を離した間に対向車線にはみ出してしまいました。

## 安全運転に向けて指導のポイント

事故を防ぐためには、脇見の原因を取り除くことが必須です。助手席の缶コーヒー缶を取ろうとすればどうしても脇見になります。また、片手で缶をしばらく持ったまま運転することは、とっさの操作に支障をきたすでしょう。加えて今回の事例では、脇見をした場所がカーブであったことも対向車線にはみ出した要因と考え

られます。飲む場合は、安全な場所に停車した時、信号待ちなどのようにしばらく停車している間にしましょう。また、睡眠不足や体調不良は居眠りの誘発や運転の認知・判断・操作に悪影響を及ぼします。管理者はドライバーの体調管理にも十分気を配りましょう。

## 今月の安全メモ!

- ・走行中は運転に集中し、脇見をしなくても済むようにしましょう。
- ・管理者は日頃からドライバーの健康管理にも留意し、就労中の事故を予防しよう。